

令和3年度 モデル的事業 実施計画書

空町まちづくり協議会

1.モデル的事業名	地域拠点整備事業
2.事業名	空町まち協地域拠点整備事業
3.目的	<p>まち協事務所が地域外にあることにより、地域住民と事務局間の連絡、事務局と役員の打合せなどが円滑にできない。</p> <p>また、地域内に活動拠点となる場所がないため、地域住民が気軽に集まり、交流や情報交換を行うことができない。さらに、災害時、空町地域内の指定避難所の運営支援等、まち協が災害対応活動を行うのに支障がある。</p> <p>これらの解消のため空町地域内に活動の拠点整備を行い、高齢化や人口減少の問題などを踏まえながら、地域の人々の交流やつながりを通して地域の連帯感や絆をより一層深めてゆくことを目指し、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。</p>
4.事業内容	<p>空町地域内の最適な場所（地域の中心近く）の空家を借り上げ、地域活動の拠点として改修整備する。主な機能は、地域住民のためのサロンを開設すること、まち協の事務所機能を持たせることの2点である。</p> <p>サロンは、住民が自由に出入りできる「居場所」として活用するほか、様々な事業を実施し、多世代の人が交流を深めることができる場とする。また、事務局機能を移転し、地域住民等との連絡調整の円滑化を進める。災害時には、まち協の災害対応活動の拠点として活用する。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修計画の立案、設計や、空家借り上げ等契約に向けた準備 ・計画案に対する地域からの意見集約 ・最終設計、工事費見積り…2社 検討後1社と契約 ・空家所有者、隣地（駐車場利用）所有者との契約 ・運用規程作成、備品購入計画策定 <p>【令和4年度】：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事実施、備品購入 ・事務局機能移転、運用開始
5.効果の見込み	<p>地域内の空家を活用することで、地域住民の身近な場所を活動拠点とすることができる。</p> <p>事務局機能の移転により地域内の連絡調整事務の円滑化や、災害時など非常時におけるまち協としての役割を十分発揮できる体制が可能となる。また、サロン開設により、高齢者から若い方まであらゆる年代層の交流やふれあいを生む「居場所」が提供でき、地域の中で絆を深め、みんなで支えあい、助け合うという空町の目指すまちづくりが推進できる。</p>

令和3年度 モデル的事業(新規事業)実施計画書

月 日	項 目	事業内容(対象・方法等)	摘 要
4月～9月	準備段階①	空家所有者・駐車場用地所有者との契約交渉・ 仮契約 改修設計案の提出及び見積書提出 (市内業者2社に依頼) 業者選定(役員会)…市との調整	
6月～12月	準備段階②	住民への設計案公開… 意見募集(町内会長等) →意見を検討し改修案の最終設計 市との協議・調整 備品の購入計画の策定 運用規程の作成 広報活動計画(サロン使用について住民に周知)	
2月～3月		改修工事に向けた最終確認	

令和3年度 モデル的事業(新規事業)収支予算書

【収 入】

単位:円

区 分	予 算 額	摘 要
市 補 助 金	520,000	モデル事業
自 主 財 源	0	
合 計	520,000	

【支 出】

単位:円

項 目 ・ 科 目	予 算 額		摘 要
	予 算 額	支援金充当額	
委託費	110,000	110,000	
設計図作成	110,000	110,000	1社 55,000円×2社
使用料	360,000	360,000	
賃借料	300,000 60,000	300,000 60,000	旧内島酒店家賃@50,000円*6ヵ月 駐車場賃借料@10,000円*6ヵ月
需用費	50,000	50,000	
消耗品	10,000	10,000	事務用品等消耗品
印刷製本費	40,000	40,000	周知文書等印刷
合 計	520,000	520,000	